

コロナ禍の中で

11月14日に、学習発表会がありました。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、ご家族の方のみの観覧とさせていただき、学年の発表終了ごとに入替を行いました。入替時に毎回、椅子のアルコール消毒と館内の換気を行うなど対策を講じての発表会でしたが、何とか無事に終わることができました。アルコール消毒作業では、PTAの役員の方にもお手伝いいただき本当に助かりました。お力添えをいただきありがとうございました。今年のスローガンは「勇気をもって進化」。どの学年も、これまでの練習の成果を存分に発揮していました。一人ひとりのセリフの声、みんなで合わせた歌声や合奏、ダンス、パーカッション、群読、和太鼓から、まさに、みんな一人ひとりが主役であり、学年の心が一つになっていることが伝わってきました。

学校行事や社会科見学のある日の登校の様子を見てみると、マスクをしているので表情は今一つ分かりませんが、弾むような歩き方から、楽しみにしている気持ちがとても伝わってきました。子ども達の作文を読ませてもらうと、一人ひとりが学校行事を通して、最後まで頑張ることの大切さやクラスとしての絆、なりたい自分へのエールなどが書かれていました。改めて学校行事は、子ども達にとって楽しいだけではなく、子どもの自主性や社会性を育むと共に、努力することの大切さや集団の所属感や連帯感を深めるよい機会にもなっていると実感しました。

校内発表会の時に、1年生のある一人の児童が私のところに来て「校長先生、6年生の太鼓はいつあるん？ぼくも6年生になったら太鼓できるん？」と尋ねてきました。「あと2年生と4年生が済んだら6年生だよ。楽しみにしているんだね。6年生になったら太鼓のお勉強できるよ」と伝えると、嬉しそうに大きく頷きました。きっと体育館で練習している6年生の姿や、運動会のオープニングセレモニーの時の演奏が心の中に強く残っていたのでしょう。なりたい自分のモデルが6年生の姿の中にあっただけなのでしょうね。

これから先、コロナの影響でどのような状況になっていくか分かりませんが、保護者の方や地域の皆様の声を大切に受け止めながら、子ども達の成長にとって本当に大切な行事は、内容や運営の在り方を十分検討しながら実現の方向で進めていきたいと思っています。



< 5年生の学習発表会のふり返りより >

今年の合奏は、とてもいい演奏になったと思います。最初、楽譜を見た時はすごくむずかしかったけど、CDを聞くとリズムが分かるようになってきて、体育館で練習しているとだんだんうまくなってきました。本番になると、きんちょうして鉄琴のたたきたい場所があまりたたけなくなって、体がどんどん熱くなってきました。5年生の発表が始まる前やセリフを言うところも、すごくきんちょうしました。合奏は一人ひとりがいっぱい練習したから、いい演奏ができたんだと思います。来年は最高学年で和太鼓を受け継いで演奏するので、みんなで協力してせいっぱいがんばって最後にいい演奏をたくさんの人に聞いてもらいたいです。今日はすごくいい合奏で楽しく鉄琴がたたけたと思います。(蛭原 有隆)

日	曜	行 事
1	火	集金日 希望懇談②
2	水	希望懇談③
3	木	
4	金	給食費引落日 英語タイム 委員会 全校なわとび
5	土	
6	日	
7	月	全校朝会
8	火	
9	水	ペア学年交流
10	木	心臓検診(1年)
11	金	全校なわとび
12	土	
13	日	
14	月	児童集会 婦人会あいさつ運動 スクールカウンセラー来校日(PM)
15	火	
16	水	いきいき班遊び
17	木	
18	金	英語タイム クラブ 全校なわとび
19	土	
20	日	家庭の日
21	月	
22	火	
23	水	地区別児童会 大掃除 給食終了 一斉下校15:10~
24	木	2学期終業式 一斉下校11:30~
25	金	冬季休業日
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	
31	木	

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、予定が変更になる場合があります。

地域の皆さん、いつも登下校の見守りをしてくださってありがとうございます。



裏面あり

たくさんの感動をありがとう



< 1年生 >

「日付と曜日」の群読から始まり
ました。テンポに合わせて一人ひとり、
元気よく言えてとても感心
しました。「きゅうしょくの歌」は
大きな声で歌えていて、早く給食を
食べたくなるほどでした。自分たち
で考えた歌と聞いてびっくりしてい
ます。合奏「ミッキーマウスマー
チ」は、難しい曲を、リズムを合わ
せて一生懸命に演奏していて、すば
らしかったです。



< 2年生 >

息のそろったダンス「エール」。
笑顔いっぱいいきいきと踊って
いました。歌「メッセージ」は大
きな歌声が体育館いっぱいに広
がりました。鉄腕アトム鍵盤ハー
モニカ奏では、鍵盤の向きが右や
左や上へと変わって、見る人を
楽しませてくれました。「ロン
ドかっこう」は、指揮者の先生を
よく見て、体で3拍子のリズムを
感じながら演奏できていました。
どの発表も素晴らしかったです。



< 3年生 >

リコーダー奏「パフ」。最初は
難しかったです。でもしっかり
指で押さえることやタンギン
グに気を付けて、上手に演奏
できました。高い音がとても
きれいに響いていました。セ
リフの声も大きく気持ちがあ
りました。「おかしな魔法使
い」の歌や「パプリカ」の合
奏もみんなの息が揃っていて
素晴らしかったです。



< 4 年 生 >

「イングリッシュ ソング」からのスタート。4年生にもなるとあんなに上手に英語の歌が歌えるんですね。メリーポピンズの曲「スーパーカリフラジリスティックエキスペアリーダーシャス」も、何だか映画をみているようでした。そして、群読・合唱「10才のありがとう」は心にとっても響きました。10歳までの歩みを振り返り、ここまで育ててくださった多くの方々へ「ありがとう」の気持ちをしっかり伝えることができたと思います。今年2分の1成人式を迎える皆さんにふさわしい発表でした。



< 5 年 生 >

オープニングのダンスから最後の「アフリカン シンフォニー」までが一つのショーのようでした。鬼滅の刃の映画の主題歌「ぐれんげ」のボディーパーカッション、手話で歌を伝えるなど、いろいろな表現の仕方、見ている人を十分楽しませてくれました。最後の合奏「アフリカン シンフォニー」は、雄大な草原が目の前に広がっているような重厚感あふれるすばらしい演奏でした。



< 6 年 生 >

一年間を春夏秋冬で振り返りながらのリコーダー奏。楽しかったこと、悲しかったこと、嬉しかったこと、くやしかったこと、いろいろな思い出がつまった一年間だったことでしょう。一人ひとりの思いがリコーダーのメロディーによって伝わってくるようでした。何だかとても心がジーンときました。そして和太鼓。凛とした佇まいに、最高学年としての貫禄を感じました。息を合わせ体育館中に響き渡る太鼓の鼓動から、勇気と感動をいただきました。さすが最高学年に相応しい演奏でした。みんなありがとう！



修学旅行（代替旅行）行ってきました！

週間天気予報では、ずいぶん前から雨の予報でしたが、日頃の行いがきっとよいのでしょう、学校を出発する頃には雨もすっかり止み、秋晴れの中、全員そろって修学旅行に行くことができました。フェリーでは甲板にあがり、そこから瀬戸内海や海に浮かぶ島々、瀬戸大橋に感嘆の声が！直島では解説の方をお願いし、現代アートについて学ぶことができました。そして昼食は海を見ながら、子ども達の大好きなカレーを堪能しました。午後からは、児島ジーンズの歴史やストラップ作りをして、最後は子ども達が一番楽しみにしていた鷲羽山ハイランドで思いっきり遊びました！コロナ禍での今回の修学旅行。子ども達にとって少しでも思い出に残る旅になってくれたら嬉しいです。



直島の時の写真です